

◆植栽景観の現状の課題

- 平成の森遊歩道において、案内施設の不足、下草の繁茂や階段の老朽化等が見られる。また、展望台では、周辺の支障木により眺望が阻害されている。
- 下北山スポーツ公園では、多くの桜が植栽されているが、一部は老木化している。
- 国道169号においては、生長した沿道の樹木が下北山スポーツ公園への眺望を阻害している。

課題解決
への
主な対応

- 支障木伐採等による眺望の確保
- 平成の森遊歩道の整備
- 桜の更新や植栽

【今後の連携策】 観光・レクリエーションへの活用に向けた、村、地域住民の協働による眺望景観の維持管理の仕組みづくり。

◆エリアの特徴的な景観



ダム湖面の眺望

□下北山スポーツ公園

短期 老木化した桜の更新や、適正管理を行うことにより、春の彩りを充実させる

□国道169号

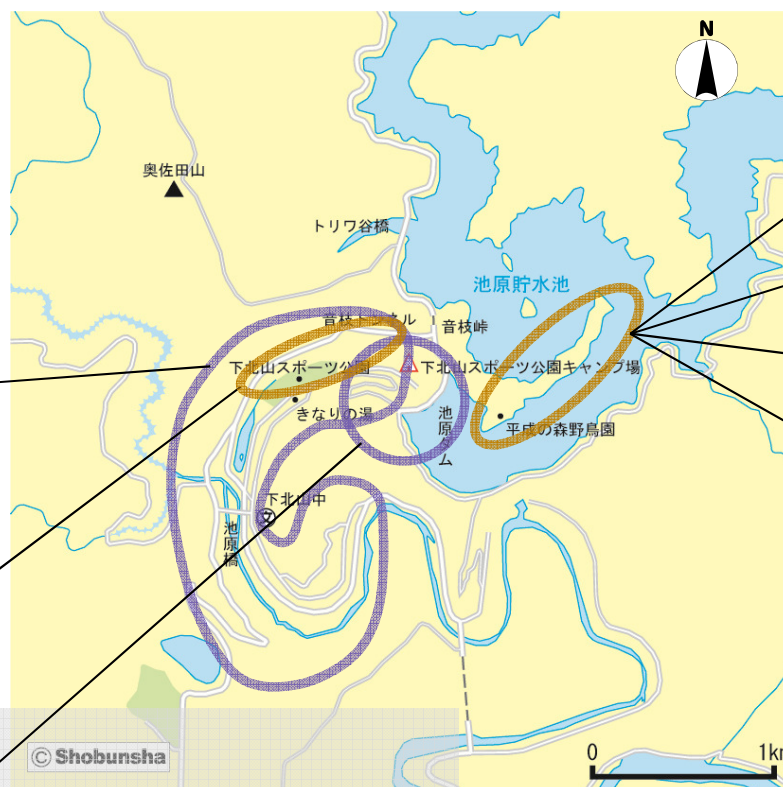
短期 支障木を伐採し、眺望景観の向上を図る

□池原ダム周辺

管理 桜等の管理を充実し、彩りある景観の維持を図る



現況写真



□平成の森

イメージ図

短期 平成の森の階段改修や草刈り等の整備を行い、使いやすい遊歩道としての形成を図る

短期 支障木を伐採し、展望台の眺望確保を図る

短期 スポット的に支障木の伐採を行い、遊歩道からダム湖が見えるよう視点場の確保を図る

短期 適切な樹木の植栽を行い、彩りある景観づくりを図る



現況写真

整備イメージ